

軽量四角支柱

特徴

- 許容荷重が 196kN(20 t) と一般の支保工と比べて大きい。
- 200 ～ 3000mm の 6 種類の寸法組合せにより、様々な高さに対応可能。
- H 鋼 (正材や山留材) に比べ簡易的に使用可能。
- 従来の四角支柱と比べ約 3 割の軽量化を実現。

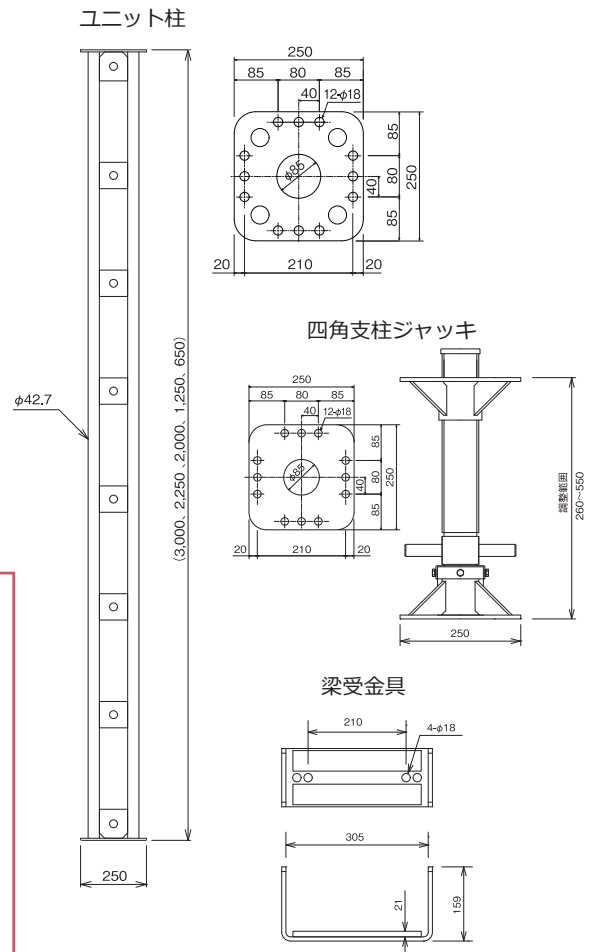
商品仕様

機材コード	機材名	使用高さ(mm)	重量(kg)
SSL-20	ユニット柱 SSL-20	200	8.0
SSL-65	ユニット柱 SSL-65	650	14.1
SSL-125	ユニット柱 SSL-125	1250	22.1
SSL-200	ユニット柱 SSL-200	2000	31.1
SSL-225	ユニット柱 SSL-225	2250	33.5
SSL-300	ユニット柱 SSL-300	3000	41.8
SSJL-55	四角支柱 ジャッキ	260～550	20.8
SSUL-31	四角支柱 梁受金具	-	7.0

※支柱材：JIS G3444(一般構造用炭素鋼鋼管) STK-500 Φ42.7×2.4

注意事項

- ・設計荷重以上の荷重をかけないで下さい。
- ・必ず鉛直に設置して下さい。
- ・規格の組合せ以外で使用しないで下さい。
- ・基礎をしっかりとして下さい。
- ・必ず水平つなぎ・筋かいを設置して下さい。
- ・ジャッキの調整高さを守って下さい。
- ・改造・変更をしないで下さい。
- ・玉掛けする場合は、ユニット柱本体を吊上げて下さい。
- ・根がらみ、首がらみ、水平つなぎ、筋かいにはΦ48.6×2.4の鋼管を使用し緊結金具を使用して下さい。
- ・ジャッキハンドルをハンマーでたたかないで下さい。



強力サポート

特徴

- 強力サポートは高抗張力鋼管製の支柱であり、主として建築地下工事及び重量物運搬仮設通路下の支保、地下鉄及び隧道工事の支保、高架道路及び高架鉄道道床工事の仮設支保、上下水道工事の切梁、山留の部材等の強力仮設支柱として使用され、従来の軽荷重サポートに比較し強度は約 10 倍に達し、従って仮設面積は枠組足場等に比較しても著しく減少され、工事現場での仮設材の林立を防ぎ、十分な広さの空間を活用することが可能になり、建設資材の置場、運搬通路等に利用できる利点があり、且つ仮設費の節減に役立ちます。

商品仕様

機材コード	機材名	色別	最大L max (mm)	最小L max (mm)	許容耐圧強度 (N) ※1	結束数	重量(kg)
QA	強力サポート 下柱	-	-	-	-	10	27.70
QB24	強力サポート 上柱24型	青	2470	1815	147,000	10	12.60
QB32	強力サポート 上柱32型	赤	3270	1865	147,000	10	21.30
QB40	強力サポート 上柱40型	青	4070	2665	127,400	10	30.40
QB50	強力サポート 上柱50型	赤	5070	3665	98,000	10	41.70

※1 許容耐圧強度は、上柱と下柱を繋いだ状態での強度です。単柱の場合で、安全率は2.0以上あります。

※ 東北は取扱なし

